

平成 24 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 真田 信治

最終学歴	東北大学大学院文学研究科修士課程修了	
取得学位	文学博士(大阪大学)	
所属学会	日本方言研究会、社会言語科学会、変異理論研究会	
専門分野	日本語学、社会言語学、接触言語学	
研究課題	日本語の時空間バリエーションの研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・国文学講読(通年) ・演習Ⅰ(通年) ・演習Ⅱ(通年) ・国語学概論Ⅰ・Ⅱ(前期・後期) ・日本語の歴史Ⅰ・Ⅱ(前期・後期) ・国語学特殊講義(前期)
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・言語論演習Ⅰ(通年) ・研究演習(通年)
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】	人間文化研究機構国立国語研究所での共同研究プロジェクト「日本語変種とクレオール形成過程」のプロジェクトリーダーとして、東アジアの各地においてフィールドワークを実施している。	
【教育上の特記事項】	日本言語学会夏期講座2012「社会言語学(中上級)の講義(東京大学6日間)を担当した。	
【社会的活動】	博報財団日本語海外研究者招聘事業審査委員会委員長、新村出記念財団監事・新村賞選考委員会委員長、日本方言研究会世話人	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	奈良大学「全国高校生歴史フォーラム」審査委員、就職委員会委員、紀要編集委員、学生相談室相談員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①マリアナ諸島に残存する日本語	監修	平成24年4月	明治書院	171p
②サハリンに残された日本語樺太方言	監修	平成24年10月	明治書院	157p
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①方言研究の新たなる出発	単著	平成24年5月	『言語セレクション』第2巻(大修館書店)	pp.126-130
②変革の前衛-東アジア残存日本語-	単著	平成24年5月	「日本語文化研究」第二輯上(延辺大学)	pp.1-7
③宜蘭クレオール	共著	平成24年7月	「NINJALプロジェクト・レビュー」Vol.3 No.1	pp.38-48
④				
⑤				
(学会発表)				
①アジアの海を渡った日本語	講演	2012.5.12	愛知県立大学国文学会	愛知県立大学
② A Japanese-lexicon Creole in Taiwan	研究発表	2012.6.18	Palau's Japanese Era and its Relevance for the Future	Palau Community College
③新しい「言語イデオロギー」に向けて	講演	2012.9.4	国際共同研究発表会	延辺大学(中国)
④東アジアの日本語変種とクレオール	講演	2012.11.18	北海道方言研究会第200回大会	北海道大学
⑤				
(その他)				
①安田敏朗著『かれらの日本語-台湾「残留」日本語論』		平成24年5月	「東方」375	書評
②「御精がでますね」に対応する各地の言い方		平成24年8月	「古民家スタイル」17	エッセイ
③ネオ関西弁-「方言萌え」の流れのなかで		平成24年12月	「月刊みんぱく」36-12	エッセイ
④「こんばんは」に対応する各地の言い方		平成25年1月	「古民家スタイル」18	エッセイ
⑤新刊クローズアップ『サハリンに残された日本語樺太方言』		平成25年3月	「日本語学」32-3	紹介